

NACSIS-CAT/ILL

ニュースレター

Contents

| | |
|--|----|
| 1. NACSIS-CAT/ILL 等のリプレイスによるサービス停止 | 2 |
| 2. これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について | 2 |
| 3. CAT/ILL 関連マニュアルの紙版提供終了 | 3 |
| 4. CiNii Books と全国遺跡報告総覧, HathiTrust Digital Library および国立国会図書館デジタルコレクションとの連携について | 4 |
| (NACSIS-CAT) | |
| 5. USMARC 流用時の LCCN の取扱い | 5 |
| 6. NII での目録品質管理 (12) | 5 |
| (NACSIS-ILL) | |
| 7. ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告 (平成 28 年度第 2 四半期～平成 28 年度第 3 四半期) | 7 |
| (教育研修事業) | |
| 8. 平成 29 年度教育研修事業について | 8 |
| 9. NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材をご活用ください | 8 |
| 10. 平成 28 年度学術情報システム総合ワークショップ実施報告 | 8 |
| 11. 平成 28 年度目録システム書誌作成研修 実施報告 | 10 |



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

学術コンテンツ課

NACSIS-CAT 担当…………… Tel:03-4212-2310 Fax:03-4212-2375

NACSIS-ILL 担当…………… Tel:03-4212-2320 Fax: 同上

学術基盤課

教育研修事業担当 …… Tel:03-4212-2177 Fax:03-4212-2375

システム管理担当 …… Tel:03-4212-2220 Fax:03-4212-2230

URL:<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>

NACSIS-CAT/ILL 等のリプレイスによるサービス停止

リプレイスにより、以下のとおりサービスを停止いたします。

■対象サービス

- ・ NACSIS-CAT/ILL
- ・ 参加館情報管理システム・業務分析表システム
- ・ Q&A データベース等 NACSIS-CAT/ILL 関係サービス

■サービス停止期間

- ・ 平成 29 (2017) 年 3 月 17 日 (金) 18:00～3 月 21 日 (火) 9:00

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について

■NACSIS-CAT/ILL 再構築に係る検討

平成 28 年 7 月 7 日に開催した第 12 回国立情報学研究所と大学図書館との連携・協力推進会議にて承認された「NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化について (基本方針)」をもとに、NACSIS-CAT 検討作業部会が中心となって、「NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化について (NACSIS-CAT 詳細案)」を検討・作成し、公開しました。

URL : <http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/>

平成 29 年度は、以下の 3 点に取り組んでまいります。

- ・ 検討状況に関する、定期的な参加館・ベンダーその他関係者との情報共有及び意見交換の場の設定
- ・ システム連携に関する技術資料の作成及びベンダーとの調整
- ・ 「NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化について (NACSIS-CAT 詳細案)」を元にした運用ガイドラインの作成

■電子リソースデータの管理及び活用に係る検討

ジャーナルパッケージのキャンセルや電子ブック導入の本格化に伴い、適切な電子リソース管理とそれに基づくユーザーの利便性向上が不可欠であるとの観点に立ち、平成 28 年度は電子リソースデータ共有作業部会が中心となって、商用 ERM システムのコンソーシアム版 (ProQuest 社 360 Resource Manager Consortium Edition) についての調査を実施し、「電子リソース管理システムの利用可能性の検証について (平成 28 年度最終報告)」を公開しました。

URL : <http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/>

さらに、平成 29 年度に図書館サービスプラットフォームである Ex Libris 社 Alma の検証を開始するにあたり、米国オレゴン州、ワシントン州、アイダホ州に拠点を置く 39 大学から構成されるコンソーシアム Orbis Cascade Alliance(OCA)が実施している Alma / Primo の共同利用及びデータ共有状況について調査を実施しました。調査結果は、国立国会図書館が発行する季刊誌『カレントアウェアネス』に寄稿予定です。

その他、平成 29 年度は以下の 4 点に取り組んでまいります。

- ・ 電子リソースの管理基盤・ワークフローの構築
- ・ 電子ブック等のメタデータの体系的な整備
- ・ 国内刊行電子リソースのナレッジベース (ERDB-JP) について、自律的なコンテンツ維持管理体制の整備
- ・ 持続的な電子リソース管理・提供基盤形成に向けた国際連携

詳細な活動計画等は委員会 Web サイトの委員会配布資料をご覧ください。

URL : <http://www.nii.ac.jp/content/korekara/about/document/>

■終了イベント (資料公開あり)

- ・ 第 102 回全国図書館大会
平成 28 (2016) 年 10 月 16 日 (日) 「2020 年に向けた NACSIS-CAT/ILL の再構築」
<http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/>
- ・ 第 18 回図書館総合展
平成 28 (2016) 年 11 月 9 日 (水) 10:00~11:30 「NACSIS-CAT/ILL と電子リソース : 2020 年の学術情報システム」
<http://www.nii.ac.jp/event/libraryfair/>

■予定イベント

- ・ NII 学術情報基盤オープンフォーラム 2017

(CiNii/新 CAT 担当)

CAT/ILL 関連マニュアルの紙版提供終了

ニュースレター39号・40号でご案内したとおり、NACSIS-CAT/ILL の関連マニュアルについて、平成 27 年度より増刷および新規作成を廃止し、紙版の提供は在庫がなくなり次第終了を予定

しておりました。この度、在庫がなくなりましたので、以下6点は今後オンライン版のみでの提供に変更いたします。

- ・ 目録情報の基準 第4版
- ・ コーディング・マニュアル
- ・ 目録システム利用マニュアル 第6版
- ・ 目録システム利用マニュアル 入門編
- ・ ILL システム操作マニュアル 第7版
- ・ ILL システム操作マニュアル ISO ILL プロトコル対応

URL : <http://catdoc.nii.ac.jp/>

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

CiNii Books と全国遺跡報告総覧, HathiTrust Digital Library

および国立国会図書館デジタルコレクションとの連携について

NACSIS-CAT の書誌レコード内に含まれる, NCID (全国遺跡報告総覧のみ)・ISSN・ISBN・LCCN (HathiTrust Digital Library のみ)・JPNO (国立国会図書館デジタルコレクションのみ) をキーとして, 全国遺跡報告総覧, HathiTrust Digital Library および国立国会図書館デジタルコレクションに登録されているデータと照合し, CiNii Books の検索結果詳細画面に本文情報ページへのリンクを表示する変更を実施しました。各連携の詳細は以下のお知らせをご覧ください。

全国遺跡報告総覧 : <https://support.nii.ac.jp/ja/news/cinii/20160323>

HathiTrust Digital Library : <https://support.nii.ac.jp/ja/news/cinii/20161102>

国立国会図書館デジタルコレクション : <https://support.nii.ac.jp/ja/news/cinii/20161130>

(CiNii 担当)

USMARC 流用時の LCCN の取扱い

参照ファイルとして提供されている USMARC/USMARCS には LCCN フィールドに LCCN (LC カード番号) が登録されており、流用時にも BOOK/SERIAL の LCCN フィールドに引き継がれる仕様になっています。LCCN にはアルファベットのプレフィックスを持つデータと数字のみのデータの 2 種類が存在しますが、現在の参照ファイル取込用ローダーでは、プレフィックスを除去して取り込んでいます。このため、参照ファイル内の複数の書誌レコードに同一 LCCN が付与されているパターンが存在しています。(例: USMARC 内では「0000」と「a0000」で区別されているレコードが、参照ファイル内では同じ「0000」として存在)

この度、プレフィックスも含めて登録可能なようにローダーを改修し、過去の取込分も含めて参照ファイルの修正を実施しました。なお、BOOK/SERIAL の LCCN フィールドは以下の仕様になっているため、プレフィックスを持つデータを流用登録する場合にエラーとなります。お手数ですが、値を除去して登録をお願いいたします。LCCN の扱いについては、CATP の仕様変更も含めて検討する予定であります。

LCCN のチェック仕様: [0-9]{7}[0-9X]{1},CD または [0-9]{9}[0-9X]{1},CD

http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/newcat/jissou_siyo/bbib.update.html

http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/newcat/jissou_siyo/sbib.update.html

(NACSIS-CAT 担当)

NII での目録品質管理(12)

目録品質管理の実際を紹介する第 12 回は、NACSIS-CAT での雑誌関係の事項についてご紹介します。

参照ファイルからの流用入力時の注意点

総合目録データベースに新たに書誌を作成する際に、参照ファイルに該当する書誌レコードがあれば、それを流用して効率的に作業することができますが、参照ファイルのレコードをそのまま登録されるケースが増えています。流用入力時には、必ず手元の情報源と照らし合わせて、書誌レコードの内容を確認し、適宜、追加・修正・削除等を行う必要があります。ここではいくつかポイントを解説しますが、詳しくは講習会テキストやセルフラーニング教材が公開されていますので、下記の URL を参照してください。

講習会テキスト 第 6 講 雑誌登録実習 2

http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/product/cat/text_index.html

セルフラーニング教材

<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/product/cat/slcat.html>

■ 初号主義

データの記述を行う上の基準号として優先的に採用されるのは、初号です。初号が入手できない場合は、入手できるものの最初の号（所蔵最古号）に基づいてデータ記入を行います。

JPMARCS の「記述は最新号による」という注記は削除し、以下のように初号もしくは最古号の情報源に基づいた記述に修正します。なお、初号以外の号で記述を行った場合、記述の基準とした号について NOTE フィールドに記録する必要があります。

初号に基づく記述と、初号以外の号による記述は、記述できる項目が異なります。

| | YEAR (出版開始年) | VLYR (初号巻次・年月次) | PUB (初号出版日付) | NOTE (注記) |
|------|----------------------|--------------------|-----------------|--------------------------------|
| 初号あり | ○ | ○ | ○ | |
| 初号なし | 推定 (例) 199-, 20-- | × | × | 記述の根拠 (例) 記述は 3 号 (1989)による |

■ 参照ファイルのレコードによる注記

USMARCS にあった巻次・年月次や注記が有用な情報だと判断した場合には、引用として NOTE フィールドに記述することができます。手元の情報源から確認できない場合は、USMARCS のままではなく、このような方法で注記します。

(例) NOTE: VLYR of US MARCS: Vol. 1, no. 1 (Jan. 1936)-v. 38, no. 12 (Dec. 1973)

(例) NOTE: Text photolithographed, 1936-Jan. 1943-- Cf. US MARCS

※1936-Jan. 1943 は所蔵していない。（この注記を削除することも可。）

(NACSIS-CAT 担当)

ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告

(平成 28 年度第 2 四半期～平成 28 年度第 3 四半期)

ILL 文献複写等料金相殺サービスの処理状況は、以下のとおりです。

■ 平成 28 年度第 2 四半期 (平成 28 年 7 月～9 月)

- ・利用機関数：915
- ・処理対象 ILL レコード件数：147,416 (NACSIS-ILL 総レコード件数：160,341)

| | | 対債務機関 | 対債権機関 |
|--------------|----------|------------|---------------|
| 機関数 | | 526 | 389* |
| NII の請求額/支払額 | | 16,130,341 | ▲ 16,055,872* |
| 内 訳 | 相殺金額 | 16,120,950 | ▲ 16,120,950 |
| | 運営費 (税込) | 9,720 | 4,860 |
| | 前期債権繰越額 | ▲ 329 | ▲ 2,989 |
| | 振込手数料 | 0 | 63,207 |

* 対債権機関の機関数, NII の支払額には次期繰越分(23 機関, 12,327 円)が含まれています。

■ 平成 28 年度第 3 四半期 (平成 28 年 10 月～12 月)

- ・利用機関数：917
- ・処理対象 ILL レコード件数：147,861 (NACSIS-ILL 総レコード件数：161,631)

| | | 対債務機関 | 対債権機関 |
|--------------|----------|------------|---------------|
| 機関数 | | 531 | 386* |
| NII の請求額/支払額 | | 16,092,281 | ▲ 16,033,301* |
| 内 訳 | 相殺金額 | 16,094,950 | ▲ 16,094,950 |
| | 運営費 (税込) | 3,240 | 6,480 |
| | 前期債権繰越額 | ▲ 5,909 | ▲ 6,418 |
| | 振込手数料 | 0 | 61,587 |

* 対債権機関の機関数, NII の支払額には次期繰越分(27 機関, 13,558 円)が含まれています。

(NACSIS-ILL 担当)

平成 29 年度教育研修事業について

従前『教育研修事業要綱』内にてお知らせしておりましたが、事務効率化・経費削減の観点から、平成 27 年度をもって冊子体の発行を終了し、Web サイトでの公開のみといたしました。

平成 29 年度の教育研修事業につきましては、4 月以降に Web サイトに掲載いたしますので、そちらをご参照くださいますようお願い申し上げます。

URL : <http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/apply/index.html>

(教育研修事業担当)

NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材をご活用ください

国立情報学研究所では、NACSIS-CAT/ILL システムをウェブ上で学習できるセルフラーニング (SL) 教材を提供しています。SL 教材は平成 26 年 4 月 1 日より一般公開しており、申込不要でどなたでもご利用いただけます。また CAT 編では平成 27 年度から、SL 教材での受講を目録システム講習会の受講と同等に扱うことと致しました。SL 教材を学習の上、修得テスト・セルフチェックテストとも合格基準に達している場合、申請により修了証書を取得することができます。

職場での研修や大学の司書課程での授業、また自学自習などにぜひご活用ください。以下の URL を参照のうえご利用ください。

URL : <http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/product/cat/slcat.html>

(教育研修事業担当)

平成 28 年度学術情報システム総合ワークショップ実施報告

平成 28 年 6 月 30 日 (木) ~12 月 16 日 (金) の間、「研究データを用いたサービスの調査・企画」をテーマに、国立情報学研究所において学術情報システム総合ワークショップを開催しました。

本研修は、平成 25 年度より、国立情報学研究所と大学図書館が連携・協力して解決しなければならない学術情報流通にかかる課題を解決するために、学術情報システムに関する総合力を身につけることを目的として開催しています。

受講者は 2 つのグループに分かれ、研究データを活用するサービスの企画と、そのサービスを

実現するシステムの仕様書を作成するため、実践的な調査・検討を行いました。

開催期間中は、集合研修3回に加え、約6ヶ月間に亘り、各自の機関での個人ワークと、グループごとに自主的に開催したテレカンファレンスでの議論により、研修課題に取り組みました。

カリキュラム、講義資料、受講者の成果物等は、教育研修事業ウェブサイトでも公開しています。

URL : <http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/ciws/result.html>

◆ 開催日程

| 開催会場 | 開催日 |
|----------------------|----------------------------|
| 国立情報学研究所 [第1回：講義等] | 28. 6. 30 (木) ~ 7. 1 (金) |
| 各自の機関 | 28. 7. 4 (月) ~ 8. 24 (水) |
| 国立情報学研究所 [第2回：中間検討会] | 28. 8. 25 (木) ~ 8. 26 (金) |
| 各自の機関 | 28. 8. 29 (月) ~ 10. 31 (月) |
| 国立情報学研究所 [第3回：報告会] | 28. 11. 1 (火) ~ 11. 2 (水) |
| 各自の機関 | 28. 11. 4 (金) ~ 12. 16 (金) |

◆ 講義内容

| 月日 | 講義名 | 講師 |
|------|--------------|----------------------------------|
| 6/30 | ワークショップ趣旨説明 | 大向 一輝 (国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 准教授) |
| | 研究データをめぐる状況 | 武田 英明 (国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系 教授) |
| | サービスの企画 | 岡本 真 (アカデミック・リソース・ガイド株式会社) |
| | サービスの設計と仕様策定 | 大向 一輝 (国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 准教授) |

◆ 各班の設定テーマ

| 班 | 設定テーマ | 成果物 (仕様書) タイトル |
|---|------------------------------|---|
| A | 研究情報入力支援システムの構築 | 機関内研究情報統合システム IRIIS (Institutional Research Information Integrated System) |
| B | オープンデータ利活用総合基盤システム(仮称)の概要と計画 | ODEN (オープンデータ利活用総合基盤) システムのソフトウェア開発 |

◆ 平成29年度のご案内

平成29年度のテーマなど、詳細は『平成29年度教育研修事業要綱』内にてお知らせいたします。

(教育研修事業担当)

平成 28 年度目録システム書誌作成研修 実施報告

平成 28 年 11 月 24 日 (木) ~11 月 25 日 (金) に、国立情報学研究所において目録システム書誌作成研修を開催しました。

本研修は、目録業務担当者が多様な書誌事例について理解を深め、総合目録データベースの円滑な運用に必要な知識・技能を身につけることを目的として、平成 27 年度より開催しています。

今回は 32 名のご応募をいただき、選考の結果、20 名が受講することとなりました。

研修課題は、「NACSIS-CAT/ILL Q & A DB」にお問い合わせいただいた質問等を踏まえた実践的な内容としました。研修では受講者各自が作成した解答案をもとにグループでディスカッションを行い、グループごとの解答を発表するという流れで進みました。

カリキュラム等は、教育研修事業ウェブサイトでも公開しています。なお、研修課題等は、一部について今後の研修でも使用する予定ですので、公開しておりません。

URL : http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/cat/biblio_index.html

◆ 開催日程

| 開催会場 | 開催日 |
|----------|----------------------------|
| 国立情報学研究所 | 28. 11. 24 (木) ~11. 25 (金) |

◆ 講義内容

| 月日 | 内容 |
|-------|--|
| 11/24 | 開講式, 研修主旨説明 |
| | グループ編成、討議、使用可能なツール等について 各課題のポイント (出題意図) 説明等 |
| | グループ演習 / 発表準備 |
| | グループ発表 / 全体討議 |
| 11/25 | 補講「NACSIS-CAT 検討作業部会の検討状況について」 |
| | グループ演習 / 発表準備 |
| | グループ発表 / 全体討議 |
| | 閉講式 |

◆ 平成 29 年度のご案内 (予定)

平成 29 年度も、28 年度と同様に開催する予定です。詳細は『平成 29 年度教育研修事業要綱』内にてお知らせいたします。

(教育研修事業担当)

